歪んだ復讐セックス ①

少女の蜜奥まで捻じ込まれて…！

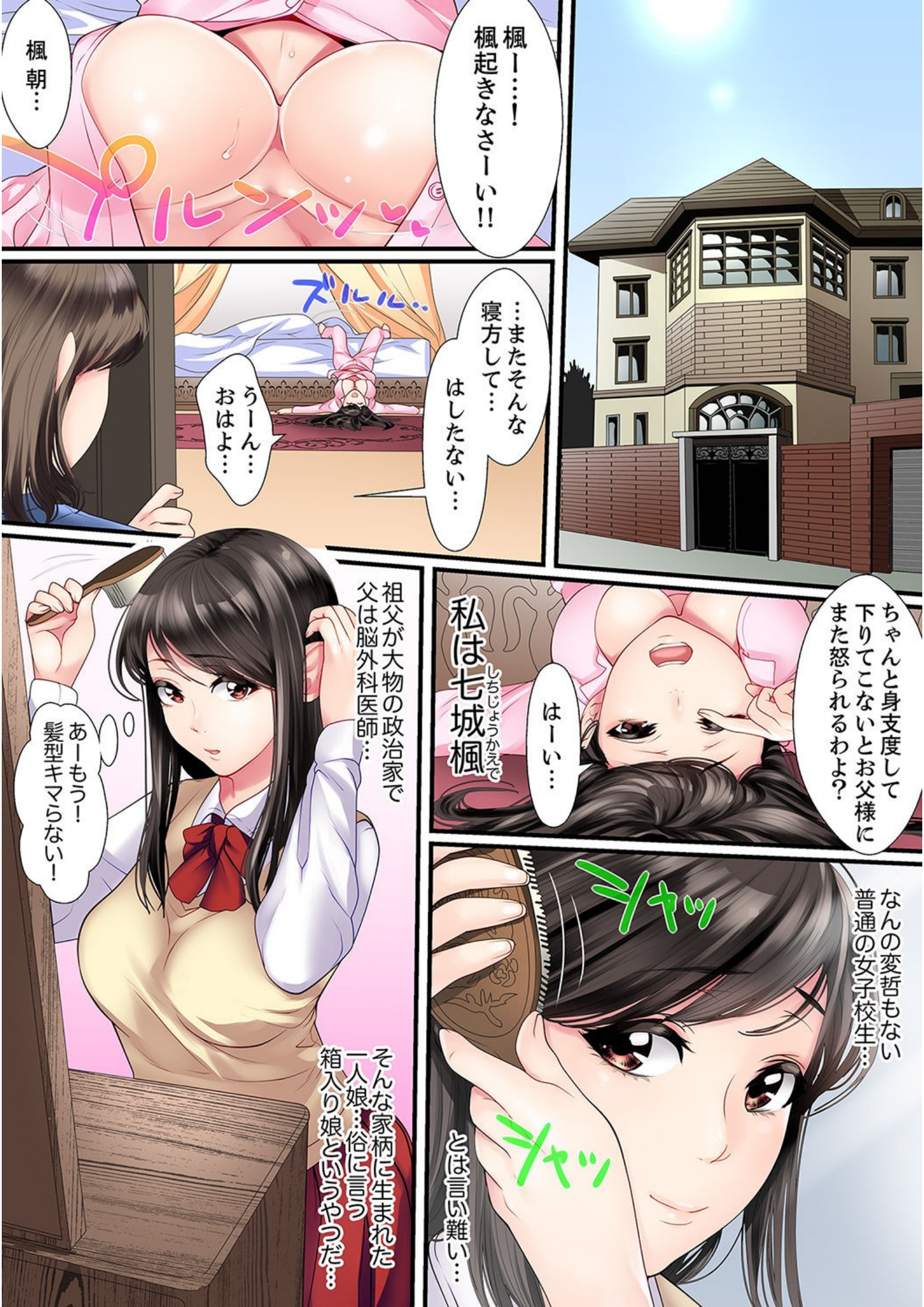
完全版

少女の秘部が爺に襲われる…！

ころすけ
presented by Korosuke

エロマンガ島

ふひ…ふひひ…
はぁーっ
はぁーっ
はぁーっ
3030年…3030年も溜め込んだんだ…
いやらしい体つきしおって…
くぅ…くぅ…
なんちゅう乳か!!
はぁ〜〜っ
はぁ〜〜っ
カク カク カク
楓ちゃん…あんたに罪はない…
はっ!!
っっ!!……
恨むならあんたの爺様を恨みなさい…
ゆるるっ


楓ー…！
楓起きなさーい!!
楓朝…
ペルンッ
…またそんな寝方して…
はしたない…
ズルル…
うーん…おはよ…
ちゃんと身支度して下りてこないとお父様にまた怒られるわよ？
はーい…
私は七城楓
なんの変哲もない普通の女子校生…
とは言い難い…
シャッ
シャッ
祖父が大物の政治家で父は脳外科医師…
そんな家柄に生まれた一人娘…俗に言う箱入り娘というやつだ…
あーもう！髪型キマらない！

いってきます！おばあちゃん！

好きなものは祖母にもらったこの古い鏡台…

そして嫌いなものは…

お嬢様としての私…

ここでは常に名家の令嬢である自分を演じなければならない…

七城さんこの問題解けますね？

はい 解答は…

素晴らしい！正解です！

はぁ…

もうこんなのうんざり…

幼い頃から習い事英才教育を受けてきた…

作法を教え込まれ将来は七城家の絶対的な権力者である祖父の見込んだ人と結婚させられる…

私の人生はもう決まっているのだ…

でもそんな私にも夢が見つかった…

ギューン

終わったー!!

終わった終わった♪

そんな私の夢とは…

おばあちゃんとの思い出の場所でもあり…

陽だまり園

こんにちわーっ!!

ここにいる自分こそが本物だと思える場所…

あら楓ちゃん!

待ってたよ!

ここ『陽だまり園』で…

徳さんたら楓ちゃんを出迎えしようって私を急かすんだから!

ははは!

今日は何の曲を弾いてくれるんだい?

介護士として働くこと…

今日は新曲!

徳さんの好きな歌謡曲もやるね!

ほほほ…

ここに来るようになった
きっかけも祖母だった…

ポロロン♪

大好きだった
おばあちゃん…

いつも私の
味方だった…

あの夜も…

お母様
起きてるかな？

ケータイの充電器
壊れたから貸して
欲しいんだけど…

ガチャ

キィィィ…

お母様…

その夜 母に借り物を
しにきた私は…

見てはならないものを見た…

ばっ

このクソアマ!!

俺の立場が
わからんのかっ!!

バジッ

バジッ

バジッ

きゃあっ！

あっ！

親父の前で
二度とっ!!…

俺に恥を
かかせるなっ!!

ひいいっ!!

息子なのに俺はあのクソ親父の機嫌取りばかりさせられる…

はぁ…

はぁ…

う…

くだらん人生だよ!!

おらっ!! 入れてやる!!

んふうううっっ!!

ズボッ

ゼクッ

んっ!

あっ!!

ズブッ

ズボッ

ああああっ❤❤ 幸人さん〜っ!!

…っっ!!…

母は…あきらかに暴力を受けていた…

ばしっ

ばしっ

おらっ! これがいいのか!?

ズボッ

ズボッ

感じるのかっ!?

ひぎいっ!!

あふうううっ!

ああああっ!! もっと…もっといじめて…

もっと私をいたぶってええええっっ❤❤

なのに恍惚とした表情を浮かべている…

ゲチュッ

ゲチュッ

ゲチュッ

その時の私にはその異様な光景が理解できず呆然と立っていることしかできなかった…

あ…❤あ…ッッ❤❤❤
来て…
あなた…❤❤❤
ズブズブズブ
ゼクッゼクッ
ドプッドプッ
ヒュプッヒュプッ
楓ちゃん…
おばあちゃん…
ガクガク
お父様が…ママ…お母様をぶってる！
私どうしたらいいかわからなくて…!!
楓ちゃん…
ぐっ…
ポロン…
あんな形の愛もあるということを知った普通じゃないことはわかってる…
後になって…
おとなはね…ふくざつなの…
今は理解に苦しむと思うけれど…

でも…

おばあちゃんのおかげで私は私でいることができた…

おばあちゃんはその後認知症が進んでここへ来たのだが…

パチパチパチパチ

私は大好きな祖母を介抱するため

足しげくこの陽だまり園に通ったのだった…

パチパチ

えへへ！

それがきっかけで福祉や介護への興味を持ち始めた…

プル プル

介護士さん…

はい！なんですか？

あの女の子はどなたかな？

ああ！あのコは…

楓ちゃんと言って…

毎日ここへ来ては入居してる皆さんとおしゃべりして帰るんですよ…

はあ…

皆に慕われてて本当に良いコなんです…

ここは良いところのようですなあ…
気に入りました…
ふふふ！あのコはここの天使なんですよ
ああ あれは…
政治家の七城努さんですよ…
楓ちゃんはそのお孫さんなんです…
七城（しちじょう）…
努（つとむ）…!?…
ピクッ
楓！
カッ
カッ
カッ
カッ
カッ
…?
どなたか来られたようですな…
来てるのか？楓!!
楓!!すぐに帰るぞ!!
あの…七城努だと…!?

この時間には帰るようにと伝えたはずだ!!
そんな!!
まだ夕方の5時半じゃない!!
関係ない!!…ん?
七城さん!ようこそいらっしゃいました!
お嬢様にはいつも良くしていただいて…
ふん!
孫娘には17時には帰るよう伝えていただけますか?
はは はい!しかし…
帰るぞ!!
ちょ…
ちょっとおじい様!!
可愛そうに…お家柄が厳しいから…
何もこんなに早く連れていかなくても…
では 私も今日はこれで…
七城努…お前にそんなに可愛い孫がいたとはね…

ザアアアア…

ブウウン…

全く…

あそこには行くなと言ったはずだぞ!!

でも…私 将来は福祉の道に…

なにをバカな…!!

そんなことは考えるな!

お前は外で仕事などせず作法を学び気品を高めわしが認める男と結婚させる!!

また始まった…

好きなことはその後でもやれる!

今はわしの言うことをやれ!!

……

嫌い……

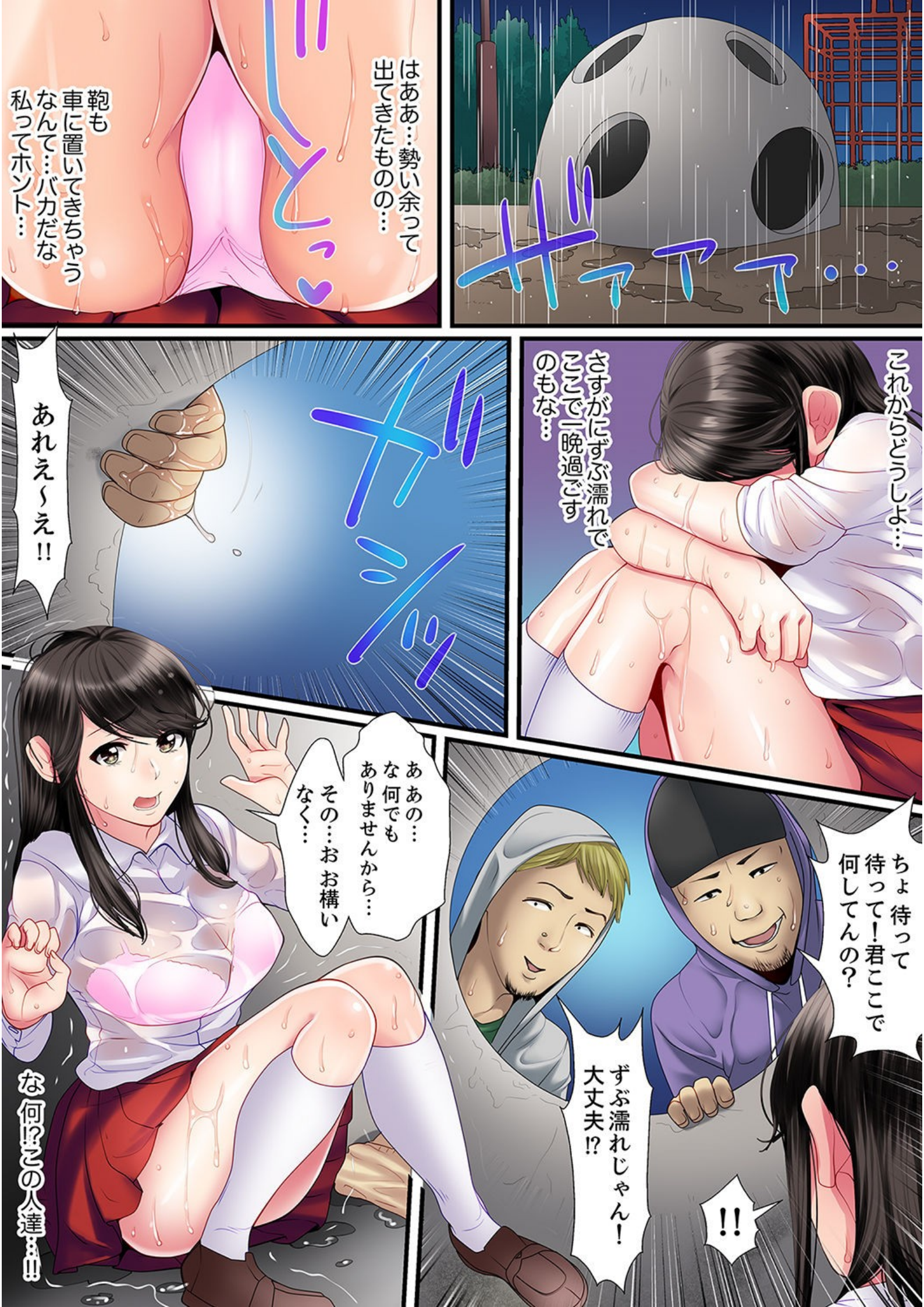
ドクン

大っ嫌い!!

ドクン

ドクン

もう…
キキッ
もう限界!!…
ばんっ!!
あっ！おい!!
楓何を…!!
っっ!!……
こんなの
耐えられない!!
たっ
たっ
楓――っっ!!
何たることだ…!!
ザァァ
どうしょう…
勢いで出て
きちゃった…
家に帰ったら……
ただじゃすまないかも…
トボ
トボ
でももう…こんな
がんじがらめの生活は嫌…
あんな家に帰るくらいなら
雨に濡れたほうがマシ…


はああ…勢い余って出てきたものの…
ぐしょぐしょ♥
鞄も車に置いてきちゃうなんて…バカだな私ってホント…
ザァァァ…
これからどうしよ…
さすがにずぶ濡れでここで一晩過ごすのもな…
ザシッ
あれえ～え!!
ちょ待って待って！君ここで何してんの？
ずぶ濡れじゃん！大丈夫!?
!!
ああの…な何でもありませんから…その…お お構いなく…
な何!?この人達…!!

いやいやそれ大丈夫じゃないっしょ～!!
こんなとこいたら風邪ひいちゃうよ～!!
いえあの…本当に大丈夫ですから…
本当に…
てか俺らも外雨降ってっからさ～…
えっ?あの…
とりあえず入れてよ!
えっ!?
話はそれからって事で…
お邪魔しまーっす!!
えっ?あのいや…
はいはい詰めて詰めて～!
ずぶ濡れで震えてんじゃん～!!
俺らが悩み聞いてあげるよマジで…
あもしかして家出!?あるわ～俺もそういう経験!
どどうしよう!!怖い…!!

嫌だ!!…胸触ってる!!
もみ
もみ
そういうときってどうすればいいか知ってる?
いいえ…
これって…
私は…あの…
大丈夫大丈夫…楽にして…
俺らに任せとけば大丈夫だから…
これってまさか…
ひゃっ!!…
ぐにゅ
ぐにゅ
嫌ッ!!あの…!!
やめ!やめて…!!
ぐりぐり
私の事…襲おうとしてるんじゃ…!!
何してるんですか…
ぐりぐりぐり
お願いやめてええっ!!
ぐりぐりぐり

嫌あああああっ!!
っ誰か…!!
大丈夫だから！騒ぐなって！
うはっ！デカくね!?
っっ!!
嫌あああっ!!
誰か助けてええっ!!
ブチッ
ポロンッ
これ以上は…
俺の彼女より胸でけーぞ!!
マジこのコカラダエロくね?
やだ…やだ…!!お願いもうやめて!!
そんなとこ触らないでええ!!
やめてええっ
くにくにくにっ
ぐりぐりぐりぐりっ
プチンッ

!!!
なんだよこれ…!!
こんなすげー乳した女見たことねーぞ!!
ぶるるんっ
そんな…
じゅぐぐっ
痛いっっ!!…
こんなのってないよ…!!
ぐぐぐぐ
触らないでええっ!!
まだ好きな人とキスだってしたことないのに…!!
じゅあぁぁぁっ!!
ヒドい…
ちゅぱっ ちゅぱっ
ぐぐぐぐ
ヒドいよ こんなの…!!

ひっ！広げ…

…ないでええ!!

くぐぐぐ

くひゃあああああ…

こりゃすげえわ…

…なあ…

ごくり…

マジやっちまうかあ？

べろべろべろ

いいんじゃねえか？

さっさと済ませば…

ダメ…そんな…

そっ!!…そんなとこ…!!

ぴちゃぴちゃ

べろべろべろ

ぜクッ

舐めないでえええっっ!!

ふあああっ!!

ヤベえよこいつマジたまんねえ!!
ヤラしすぎんだろこのエロボディ!!
もう我慢できねえよ!やっちまおうぜ!!
ああモタモタしてっと人も来るしな!
ぐぐぐ…
…っっ!?
…何!?
どういうこと!?
ぐぐぐ
やっちまうって…
放してええっっ!!
ブルブル
っっ!!
それってまさか…!!
いっ…嫌あああっっ!!
ズルルル…
お願い!!…それだけは許してええっっ!!

ふはははっ!!すげええ!!
超キレーなマ〇コしてんじゃん!!
もしかしてだけど君処女なの?
なんかそれっぽいけどさあ!
ゲタ
ゲタ
い嫌…見ないでエエ!!…
超儲けもんだよ!!
ボロッ
ありがたくいただかせてもらうわ!
っっ!!
ゼクッ
それだけは…
いや!
いやあ…
それだけはやめてええええっっ!!
そこまでじゃ!
ゼジ
小僧ども!!
!!!

ああっ？
…!?
邪魔すんなよ
聞こえんのか？バカたれ共…
ウーウー
5分ほど前に呼んだパトカーのサイレンじゃ…
早く逃げんと捕まるぞ？
バシャ バシャ
クッソマジかよ余計な事しやがって!!
クソジジイ!!
あーあもったいねえ!!
ほっほっほ…
大丈夫かな？御嬢さん…
ズッ
うっ…うっ…うう…
ブル ブル
もう心配はいらん…
だが通報はでっちあげじゃ…
あいつらが戻って来ぬうちにここを出よう
…っっ……

あの…
私 七城楓といいます
助けていただいて本当に
ありがとうございます…

ブロロロ

いやはや とんだ
災難でしたなあ…

申し遅れましたが
私 菊池一郎と申します

菊池さん…本当に
一時はどうなるかと
思いました

たまたま あの場に
居合わせたものでね…

しかし…
なぜあなたはあんな所で
暴漢に襲われる羽目に？

お恥ずかしながら…私…
家出中の身なんです…

…ほう…それはまた…

差し支えなければ
わけを聞いても？

じ 実は…

私は気が付くと…
菊池さんに何もかも話していた…
あんなことがあって動揺したのだろう…

菊池さんは静かに話を聞いてくれた…
そしていつの間にか…
私は普段人に話せない家族の秘密まで話していた…
ウチの家族って変なんです…

菊池さんが私の家柄や肩書きを知らないのをいいことに…
父や母の関係…
厳格な祖父が嫌で家出したこと…
優しかった祖母の思い出…
そして今までに起こった出来事…

スッ
これで涙を拭きなさい…
あでもそんな…
ごめんなさい…私…泣いてしまうなんて…
泣くのも無理はない…あなたはその年齢にしてはきつい経験を重ねておられる…
フキフキ
ありがとうございます…
いいんで…
そんなことがあった後に言うのもなんだが…
楓さん…
プーン!!
ははは…少しは楽になったかな?
はい…あのこれ洗って返します
構わんよそれより…
もしよかったら…ウチへ来てはどうでしょう…

えっ？…

で…でも…

さすがに
それはちょっと…

今日初めてお会いした
男性に頼るのは…

ははは 無理もない…
あんなことがあった後ではね…

だが私は
見ての通りの
老人だ…

ほとんど目は
見えないし
身寄りもなく
天涯孤独なんです…

施設へ入ろうかと
考えてはいるのだが
どうも慣れ親しんだ家を
離れるのがわびしくてね…

あなたさえよければ
部屋もあるし
お給料をお支払い
してもいい どうかな？

目…見えてなかったんだ…

あなた お金もなくて
ご飯も食べてないのでしょう？

はい…
でも…

ウチでご飯を食べて
お風呂にも入っていくといい
決めるのはそれからでも構わない

そそれでは…お言葉に
甘えてもいいでしょうか…

それと一つ
お願いが…

…何かな？

あの…
厚かましいお願いとは思うのですが…
モジモジ
？
さっき男の人に襲われたとき下着取られちゃったんです…それで…
なんと！
ではそれも買っていくとしよう
すすみません…
アウウウン…
メアアアア…
助かった…
一時は本当にどうなるかと思ったけど…

こんなところで…
1人で暮らしてるんだ…
菊池さん…
目が見えないし
杖だってついてるのに…
バリアフリーも全然
行き届いてない…
大変だろうな…
でも
いいのかな?…
ギッ
ギッ
ギッ
本当に菊池さんの
お世話になっても…
ギッ
くくくくく…
七城努…
ギッ

この状況を貴様が知ったらどう思うだろうなあ…

シャアアア…

貴様の可愛い孫娘が今わしの家でシャワーを浴びている…

くくく…くくくく!!

今ならなんだって…なんだってできるぞ七城!!

そろそろあがらないと…

長風呂は迷惑だよね…

この手で風呂に押し入り孫娘の首を絞めることもな…!!

わしにはもう何も残っていない…

失うものなど何一つない…!!

だから容赦はせんぞ…

ぐくり…

大事なものを奪ってやる…!!

貴様の命より大事な物をなあ…!!!

覚えているか？七城…!!

貴様のせいでわしは…

わしは30年もムショ暮らしを強いられたんだからなあああ!!

わしのような前科者は施設にもなかなか入れない…

プル プル

目の見えないフリをしていれば入所できるだろうと思ってあの『陽だまり園』に行ったが…

まさかあそこでお前の娘に会い…

ガッ

盲目の演技がこんなふうに役立つとはな…!!

ガララッ

すまんね…

楓さん…タオルを渡すのを忘れ…っ!!

あっ…

しゅんっ

うっ!!

はい…きゃっ!!…

おっ？

おっ？

き 菊池さ…

ぐぐっ

むにゅんっ

た 倒れるッッ…!!…

ッッ!!…

ぬぐわあああああああああああああああッッッ!!…

受け身を……

あぁ

レロレロ

むぎゅうう

う 潰れる…!!

むにゅうう

ぴくっ

ん…っ

プルプル
い…いたた…
大丈夫…ですか？菊池さん…
すすまんこんなつもりは…!!
すぐにどくよ…上に抜けるからね…
いえ…私も…ごめんなさい…
ぐぐぐぐぐぐ
な何か引っかかって…!!
待って！
ぐ…ぐ…
ふんぎぎぎ!!
ズクンッ
あっ！菊池さん待って！あんっ！
はっ!!
抜けない…ッッ!!
あっ♥
わわしの…!!
ぐぐっ
ゼグッゼグッゼグッゼグッ

すまん!!これは…不可抗力じゃ!!
ぎゅッ
ぎゅッ
ややだ!!私がどきますから…!!
んっ…
うっ!動かしちゃダメですっ!!
ぐりん
ぐりん
んんっ!
ごめんなさいっっ!!
ぱたぱたぱたぱた
う…
クラ
クラ
はっ!!
どうしたことじゃ…!!
…しかし…
しまった!!そんなつもりなど本当に…!!
バタン
あの娘に嫌な思いをさせたに違いないっ…!!
この30年不能だったわしの息子が……
ギチギチ
こんな……こんなにも…!!!

…あの…

ガララ…

…っ!!

あお風呂貸していただいてありがとうございました…

あの…さっきは…

…いいかん!!

ばっ

す済まなかった！目が不自由なもので行ったり来たりは苦手でね…

私も気が及ばすすみませんでした…

……

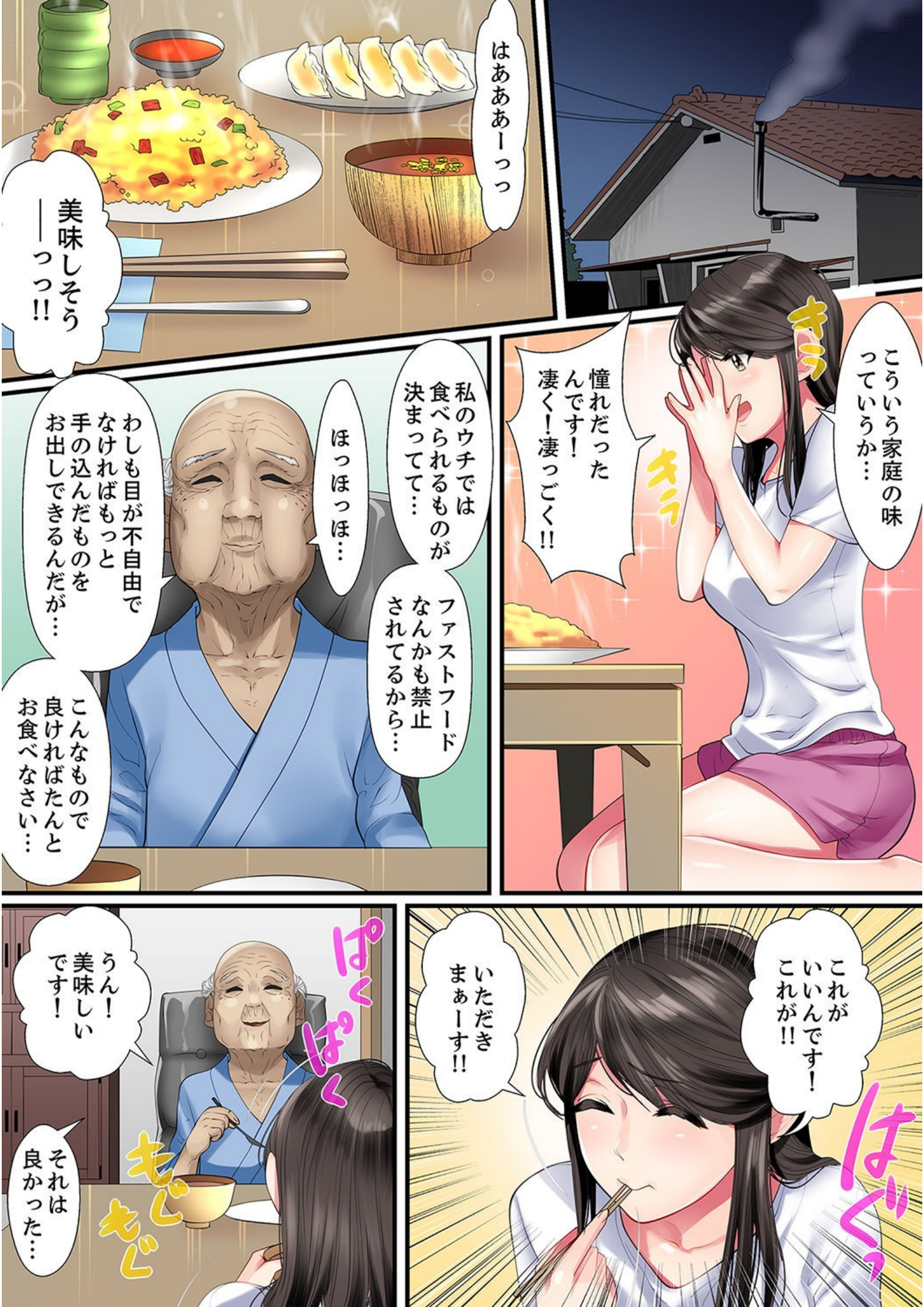
…そうだ…!!

何も殺してしまうことが復讐の全てではない…!!

ギギギ…

良いことを思いついたぞ…

七城努…貴様が一番苦しむ復讐の方法をなあああ…!!


こういう家庭の味っていうか…
キラ
憧れだったんです！凄く！凄っごく!!
キラ
はあああーっっ
美味しそう——っっ!!
私のウチでは食べられるものが決まってて…
ファストフードなんかも禁止されてるから…
ほっほっほ…
わしも目が不自由でなければもっと手の込んだものをお出しできるんだが…
こんなもので良ければたんとお食べなさい…
これがいいんです！これが!!
ばくっ
いただきまぁーす!!
ぱくぱく
もぐもぐ
うん！美味しいです！
それは良かった…

じっ…

…っていうか私がごはん作ろうって思ってたのに…

ムチッ

ムチッ

でも菊池さん凄いんですね！

目が見えなくてもここまで美味しく作れるなんて…

ん？…

ボォ～ッ

ああそれは…あの…

シャツが透けて…!!

あれは…もしやチ…チク…!!

ポロリ…

ドッ

あっ！…

こりゃなんと…

粗相をしてしもうた…

だ大丈夫ですか？菊池さん！

何か落としましたか？

…むっ!!

むむむむむむむむむむ

むむうううううう!!

ここれは…もしかして…
下も下着を履いておらんのか!?

チラチラと隙間が…!!
ああ ああ あと少しズレたら…!!

むちっ♡
むちちっ♡

ぬおおおおおお!!

ぐぐぐっ

菊池さん!?

たぷんっ♡

はぎっ!!

大丈夫ですか?

はっ?
あっ!!
はっ…?
んっ?……

だ 大丈夫…
大丈夫じゃよ!…

ホ ホント
ですかぁ?…

カッ コッ
カッ コッ
楓さん…暑くはないかな？…
スススッ…
なにぶんここには扇風機しかないものでね…
寝苦しくはないかね？
ジュンっ
ムチッ
ムチッ
……

ぐっすり眠れておるようだな…

ごくり…

ずずずず…

まったく…いくら暑いとは言え…

ずずずず…

布団を着ておらんと汗が冷えて風邪をひく…

聞こえとるか？楓さん…ん？

……

……

ずるり…

ずるり…

う…～ん…

ブウウウン

汗をかいておるなあ…
いかんこれじゃ風邪をひく…
はぁ
はぁ
ズズズズ…
体を拭うてやろうか…
まるるるる…
ススス…
んっ…
ぷるるんっ♡
っっ!!

おっ

たっぷん…

おっ!!…

おおおお

うんっ…
ゼクッ
んっ…
ふおおおおおおおっっ!!…
はっ
いいかん!!起きた!?…
…か?……
いや…大丈夫…起きてはいないか…
くーくー
はあ
はあ
…っっ…
プル
プル
もっと……
もっと触りたい…!!
キュッ

す素晴らしい……こんなにも柔らかく…

すべすべもちもちと手に吸いつくような…

プル

プル

プル

ああ手が止まらん…!!

もにゅん

もにゅん

止まらんのじゃあああ!!

んっ…

ふ…

ぴくっ

もみ

ぴく

んくっ…

すまん!すまん楓さん!!

こんなつもりじゃなかったんじゃあああああ!!

だが……

んっ!

くり

くり

くり

くり

こんな…

んっ…

こんなにも乳首を腫らして…

ぜっ

感じとるのか?

はぁ

はぁ

はぁ

感じとるのか?楓さん…!!

それなら……それならば…
はぁ
はぁ
フル
フル
フル
わしが…
もっと気持ちよく…
はぁ
はぁ
ぬちゃ
……んん！……
んっ！
……んんんんんんまい!!……
ぬぬぬ
ゼクッ
ぬ
んんっ
美味しすぎるぞ楓さんの柔肌は!!
っふ…
少しばかりしょっぱくて…
全身…
ぬぬぬぬ

全身舐めてしまいたいっ!!
ぺろぺろぺろぺろ
ぺろぺろぺろぺろ
ぺろぺろぺろぺろ

…ぷあっっ!!
ぽんっ
ぷしゅ
いいかんっ!!
ぱっ
つい夢中になって
しゃぶりついてしまうた!!
楓さん…昨日から色々と
辛い目に遭ったと言っておったな…
セクッ♡
あまり眠れなかった
んじゃろう…
ムクッ
熟睡している
のをいいことに…
わしはなんと卑劣な……
しかし…
ギッ
ギッ
だがしかし…!!
これは…
ドクンッ
ドクンッ
これは復讐なんじゃ!!

あの男への……!!……

30年前……

う～ぃ…

毎日飲兵衛で
ごめんなかーちゃん～♪…

ひぃっく…

お土産～あるから
許してねーちゃん～♪ういっ…

…んあー？

!!

のわあああああーっっ!!

あいだっっ!!

う……

う……

痛え……

ズズズ…

あの夜…私が帰宅していると突然車が突っ込んできた…

私は頭を強く打ち…

朦朧とした意識の中でぼんやりと事故車を見ていた…

ブオオオッ

すると炎上する車から男が出てきた…

くそっ！

くそっ！やっちまった！

マズいぞ…どうする…

…!!

……

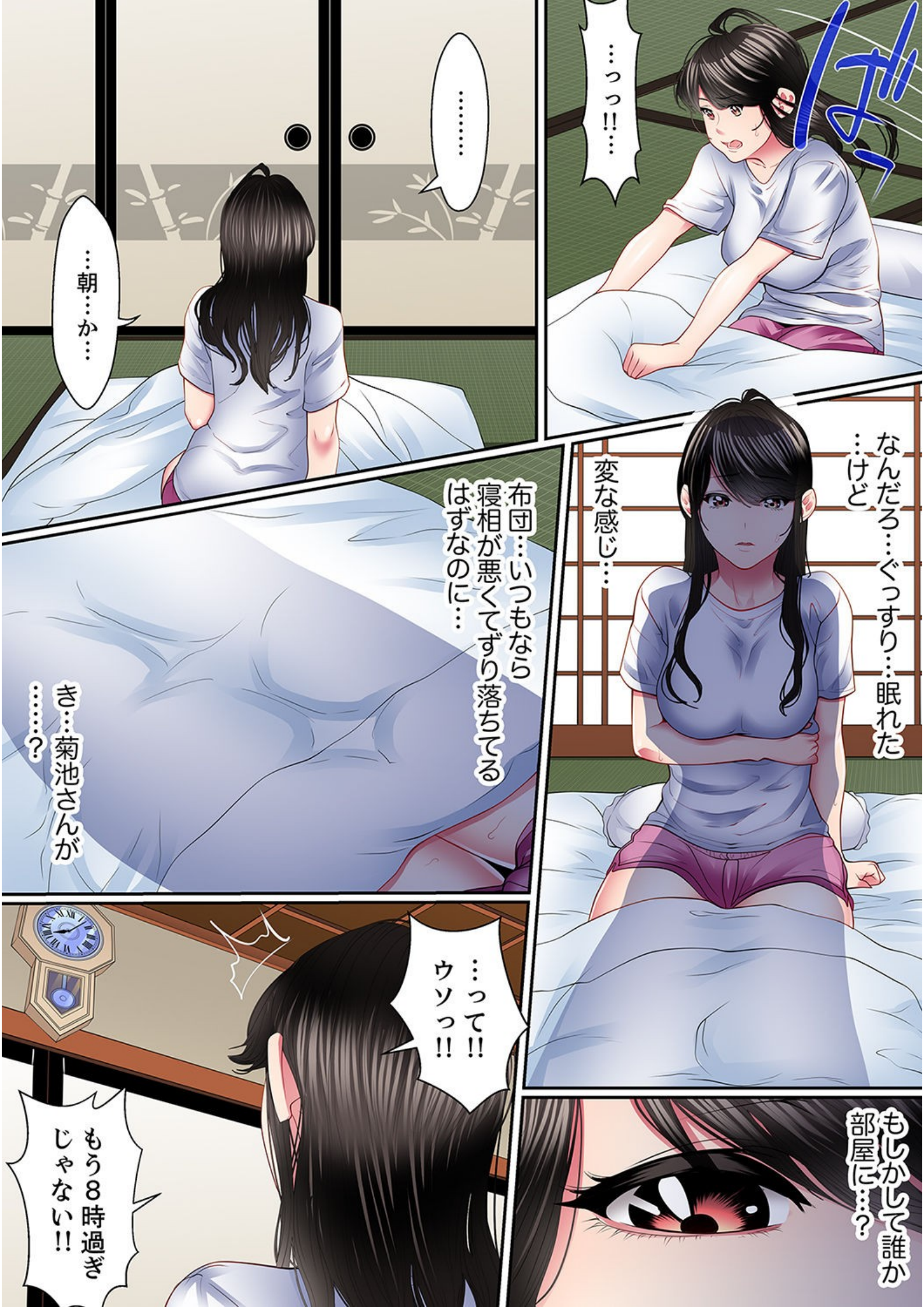
……

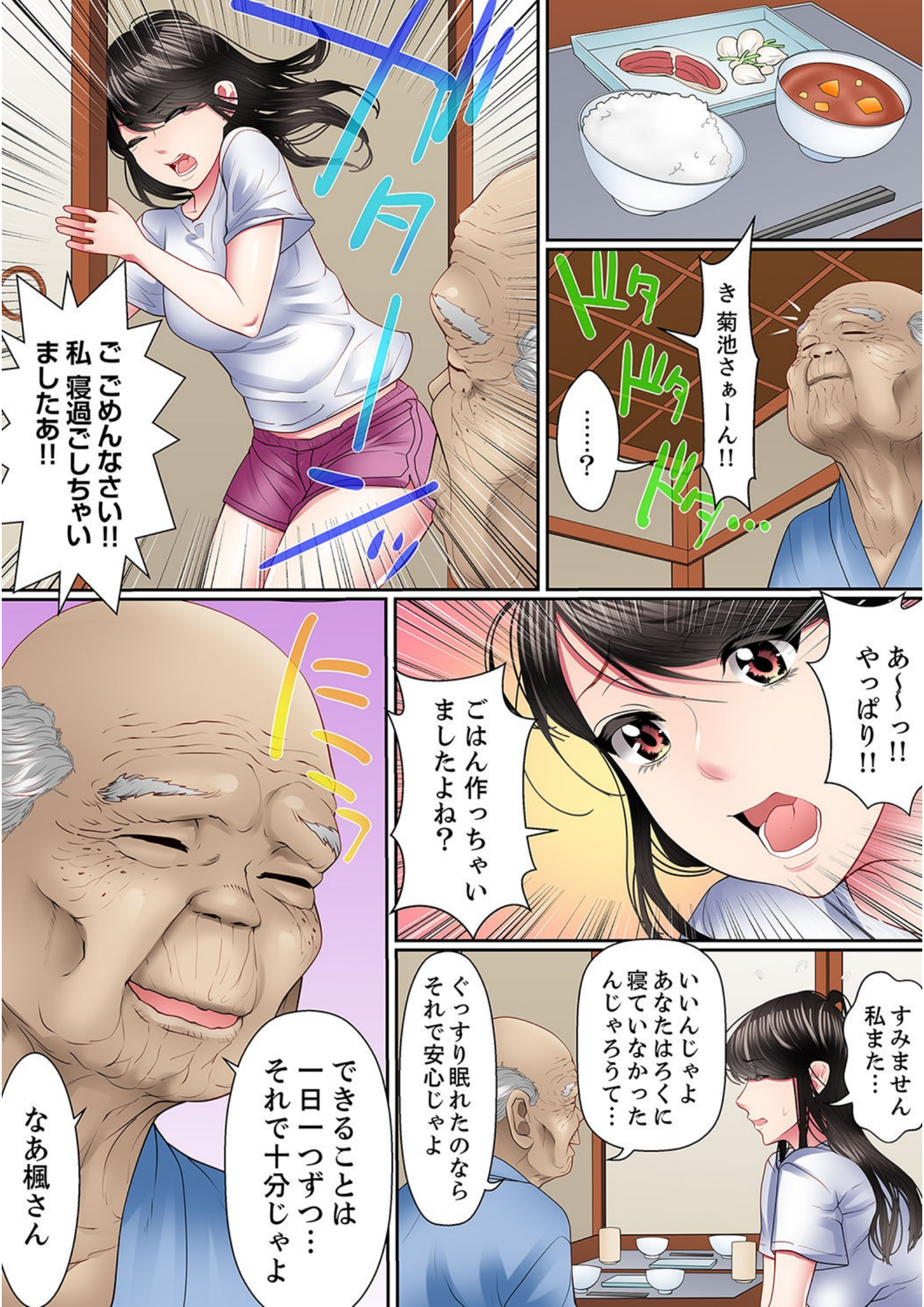
そこで私の意識は途切れてしまった…

七城努!!
お前のせいでわしは…!!
30年も服役したんじゃあ!!
これは…
これはそのお返しなんじゃああ!!
キュッ
キュッ
ビクッ
んうぅっ!
んっ…
ふっ…
ズリュッ
ズリュッ
どうじゃっ!!
七城っっ!!

わしは今っ!!…
ズリュッ
ズリュッ
ズリュッ
ズリュッ
貴様の孫にっっ!!…
こんなことをして
いるぞおおおおっっ!!
ズッ
ズッ
ズッ
あっ
んっ
うはははは
はははは!!
はぐうっ!!…
いっ いかん!!…
ドルッ
ドルッ
ドルッ
…出っ……

出てしもうたあああああ!!
ルルル


ばっ
…っっ!!…
……
…朝…か…
なんだろ…ぐっすり…眠れた…けど
変な感じ…
布団…いつもなら寝相が悪くてずり落ちてるはずなのに…
き…菊池さんが……?
もしかして誰か部屋に…?
…って!! ウソっ!!
もう8時過ぎじゃない!!


き菊池さぁーん!!
……?
ドタドタドタ…
ごごめんなさい!!私寝過ごしちゃいましたあ!!
ドタドタ
あ〜っ!!やっぱり!!
ごはん作っちゃいましたよね?
すみません私また…
いいんじゃよあなたはろくに寝ていなかったんじゃろうて…
ぐっすり眠れたのならそれで安心じゃよ
できることは一日一つずつ…それで十分じゃよ
なあ楓さん

優しいなぁ～菊池さん
ありがとうございます
ラるラる
私ったら…さっきは失礼な想像しちゃったな…
ガシッ
くそおっっ!!
何をもたもたしておる!!
楓はまだ見つからんのか!?
大の大人が…警察まで動員しておいて
家出少女の一人も見つけられんとは！
お前たちも親なら自分の娘の行先くらいわからんのか!!
全く…この無能どもが!!
草の根分けて探し出せ！
見つけるまで帰ってくるんじゃない!!
あーあ…こんな家じゃ逃げ出したくもなるよねえ…
楓ちゃん…

だけどまあ…
俺にとっちゃあチャンスかもしれないなあ…
探してやるよ…楓ちゃん❤
菊池さん
今戻りましたぁ！
ドサッ
買い出し行って来ましたよ…
菊池さん…あれ？…
いないのかな？
ガラッ
なっ何!?もしかして…
きっ 菊池さん！大丈夫ですか!?

きゃああっ!!
き 菊池さん!!
大丈夫ですか!?
おお…
風呂に入りたかったんだがね…
床が濡れているのに気づかなかったんじゃ…
さすがにもう何日も入っておらんから…
私が臭うと楓さんに失礼じゃろうと思うてな…はははは…
そんな…お風呂くらい私が付き添いますよ!
そのために私がいるんですから…
そっか…お風呂…
全然考えてなかった…
私が…入れてあげるんだよね…
当然じゃん介護を条件に住まわせてもらうんだから…

これぐらいできなくて介護だなんて言えないよね…

任せてください！

おお…

ピチャ…

本当に何日もお風呂入れなかったんだな…

確かに臭いはちょっとするかも…

でもそれより…

すまんな楓さん…臭いもきつかろうて…

何言ってるんですか～住まわせていただいてるんですからこれくらいやって当然です！

嬉しいよ…風呂は好きなんじゃ…

菊池さん意外と筋肉質なんだ…

昔何かスポーツとかやってたのかな？

ムキッ

ザバアアーッ

うふふ！お湯は熱くないですか？

ああ丁度良い湯加減じゃそれと悪いが楓さん…

プル プル

おお～ッッ……こりゃあ…

極楽じゃよ楓さん…

天にも昇るようじゃ…

ちゃぽん

体も洗うのを手伝ってもらえんじゃろうか？

あっ…え？体…？

すまんなあ…

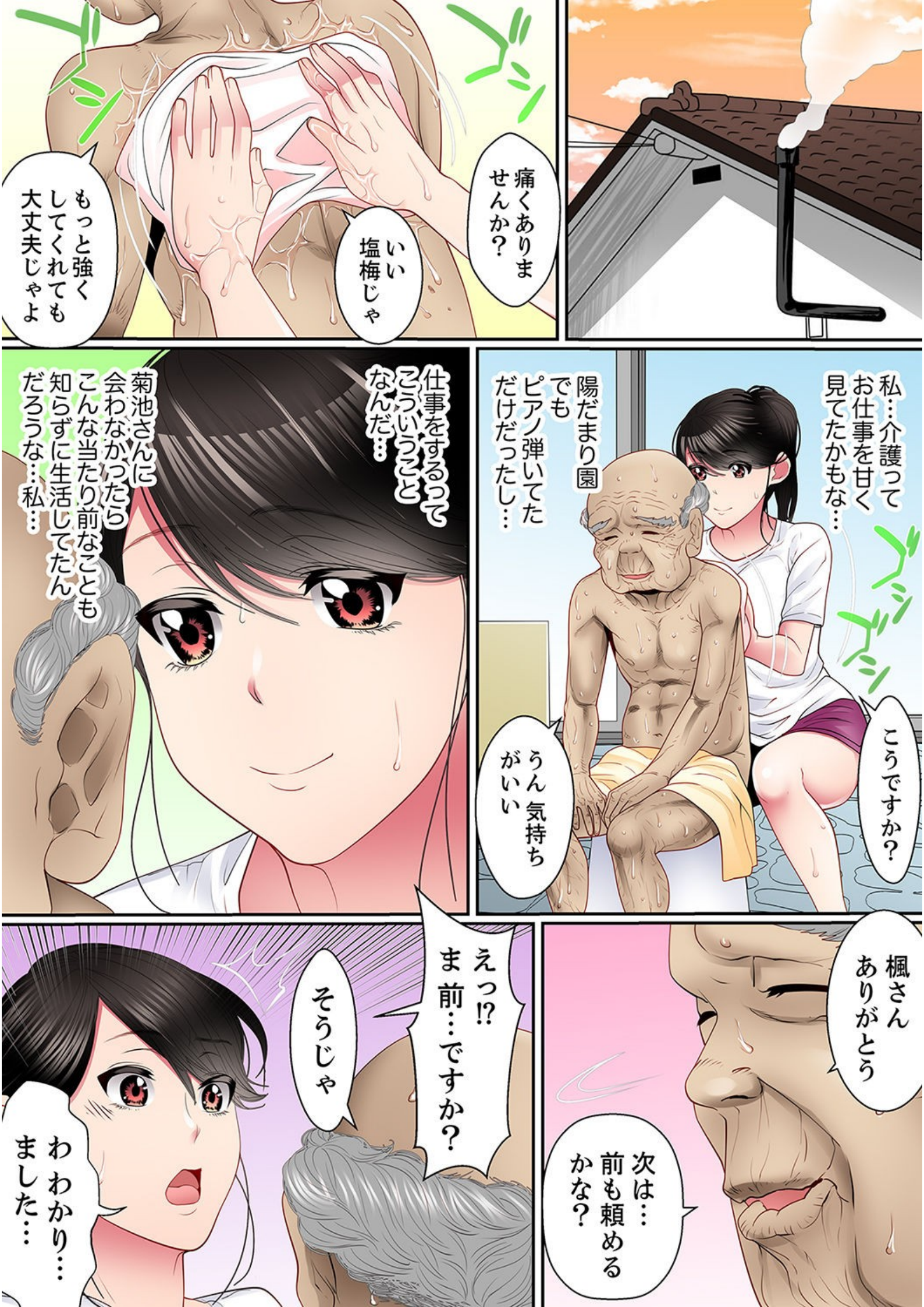
年頃の娘さんにお願いすることではないんじゃが目が見えんと石鹸を落としたりそれを踏んだりと危なくて…いいかのう？

あ…はあ…

か体を洗うのはさすがに抵抗あるな…

けど…菊池さんの顔見てるとなんだか…

やってあげたくなっちゃうんだよなあ…


ゴシ
痛くありませんか？
いい塩梅じゃ
もっと強くしてくれても大丈夫じゃよ
私…介護ってお仕事を甘く見てたかもな…
陽だまり園でもピアノ弾いてただけだったし…
ゴシゴシ
こうですか？
うん気持ちがいい
仕事をするってこういうことなんだ…
菊池さんに会わなかったらこんな当たり前なことも知らずに生活してたんだろうな…私…
楓さんありがとう
次は…前も頼めるかな？
えっ!? ま前…ですか？
そうじゃ
わわかり…ました…

ま前は自分でできるんじゃ…
ここんな感じですか？
もっと力を入れて…
はは はい…
前を向けない…男の人の体こんなに間近で見たことなんてないし…
ゴシゴシ
ゴシゴシ
こうですか？
そこは特に念入りに頼めるかな？
ここ……
ここってまさか…!!
ゴシゴシ
触ったのも…初めてだから…
どこがどう洗えばいいのかわからないよ…!!
触っちゃってるよおおおお～!!
男の人の…
カァァ～ッ

おっ！…
おふ…
うぐぐ…
菊池さん…い痛いのかな？
ぴくっ ぴくっ
ぬっはあああああ!!……
ももういいよね？これくらい洗えば…
ゴシゴシ
直視できないからちゃんと洗えてるのかわかんないよ…
ぬうう…
おぐ…
どうなの？その反応は痛いの？気持ちいいの？
えっ？…
ゼクッ
な…に…これ…？
お大きく…硬くなってる!?
ギンッ
ギンッ

どどどうしよう
こんなの…
ドキ
ドキ
どうしたら……!!
すすまんなあ
楓さん…
あっ…
いいえ…
これは不可抗力と
いうやつで…
目が見えないと
他の感覚が過敏に
なってしまうんじゃ…
仕方のない
ことでな…
わ悪く
思わんでくれ…
そ…そっか…
私また考えが
及ばずに…
それじゃあ…
どどんな風に
洗ったらいいですか?
そうじゃな…
良ければ…
手で握るように
じょ上下に擦って
もらえるかな?
はは
はい…
こっ…こう
ですか?
もっとこう…
上下に…
ガァァ
プル
プル
ゴレ
ゴレ…

うううう…
なんだか変なことしてるみたい…
ゴシゴシ
ゴシゴシ
でも…なんだか…凄い……!!
ドキドキ
タオルの上からでもドクドク脈打ってる!……
硬くて…太い…
まるで…私の手首みたいな太さ…
ゴシゴシ
ゴシゴシ
凄く…熱いっつ…!!
ゴシゴシ
ゴシゴシ
これが…男の人の…っっ…
うっ!…
おっ!…
おおっ!
楓さん!!
……
楓さんっ!!
そんなに激しくしては!!…っっ…
はぁ~~~
ぬおおっ!!
……
ビュッ
ビュルルル

何っ!?
ドロォッ
いっ…
嫌あああああああああああっっ!!
えっ!?
えっ!?
まさか……
ブルブル
ブルブル
ぬっっ…
…はああああ!!
えっっ!?
これ…
かっ…
楓さんっ!!
ダダダダ
失礼しますっ!!
無理…
ドタンッ

ドタドタドタ
無理!!…
こんなの絶対無理だって――!!
たったったっ
ばしゃばしゃばしゃ
さわやか公園
キュッ…

凄いな…介護やってる人たちって…
あんなこと…無理だよ…私には…
でもこれが普通なんだよね…
はあ…
やっぱり私…世の中知らないんだなあ…
私…
どうしたらいいんだろう…
はぁ
ハハハン…
御爺様…楓です

おお 来たか楓
もうすぐ誕生日
だな…

お前の誕生日には
クルーズ船で盛大な
パーティをしよう！

あの…

お気持ちは嬉しいの
ですが 私は友達と
一緒に…

ならん!!

っっ!!

友達も招待
すれば良い…

ストッ

わたしが認める
者だけな…

お前たち…

外してくれ

失礼します

バタン

はあ……
お前を不満に思わせているのはわかっている
だが大事な事なのだ…
ガッ
血筋を繁栄させるためにお前は七城家にとって大事な存在…
わしの子どもらは皆種無しやら不妊やらで跡継ぎが見込めんのだ
呪われているとしか言いようがない
ぱしゃ
ぱしゃ
ぱしゃ
…そんな中に唯一の孫であるお前がいる
いえ…あの…
どういうことかわかるな?
どこぞの良くない種を残すわけにはいかん…
だからこれから毎月わしが診断することにした
楓…
きゅっ
そこで裸になりなさい
ドキッ
っっ!!

お…

御爺様…

い今…

なんと仰い(おっしゃ)…

脱げと言っておるんだ！

お前の裸なぞ何度も見ておる

身知らん相手でもあるまいに…

今更 恥じることか!?

モタモタするな！

はは、はい！…

もっと早く気づけばよかったんだ…

この家がおかしいってことに…

下着もだ！
何を戸惑う？
ゼロッ
昔はよく一緒に風呂に入っただろう？裸になるくらいなんだ？
しいっ…
カッ コッ
カッ
何を…
なさるおつもりですか？…
わしが診断することはひとつ…
お前が処女であるかどうか
えっ!?
い嫌!!…
ぐぐぐっ
ぐぐぐっ

お前の周りは甘い人間だらけだからな…

わしがこの家を守る責任がある

これも家のためだ…

悪く思うな楓…

ねっとり

おっ…御爺様!?

何を!!…

やめっ!!…

やめてえええええええっっ!!

ギリギリ

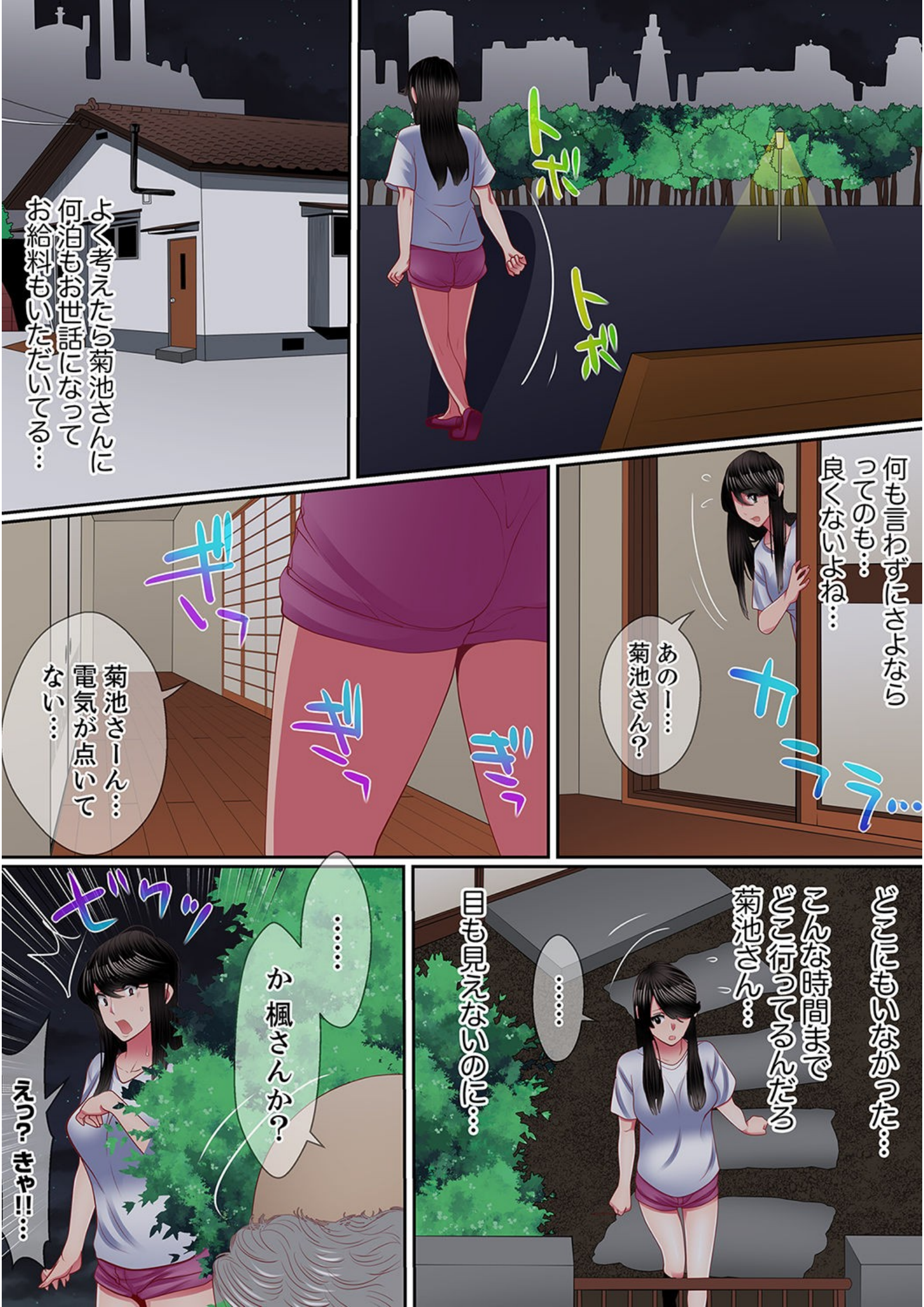
…良かろう
ストン…
服を着ていいぞ
楓すまなかった
ゴッ
ゴッ
だが…
先ほども言ったように
今後もこれは続けていく

いいな
……っっ……
そんな!!……
これを…毎月…
ブル
ブル

…また思い出し
ちゃった…

家に帰ったら
またあれが始まるんだと
思うと…
…嫌!!…
やっぱりあの家には
戻りたくない!!
ラァ
ラァ
ラァ

かと言って…
菊池さんのところに
帰るのも…
ああもう!
どこ行ったら
いいの?
友達のうちに
行っても見つかる…
ひだまり園もダメ…


よく考えたら菊池さんに何泊もお世話になってお給料もいただいてる…
トボ
トボ
何も言わずにさよならってのも…良くないよね…
カララ…
あのー…菊池さん？
ギィ
ギィ
ギィ
菊池さーん…電気が点いてない…
どこにもいなかった…こんな時間までどこ行ってるんだろ菊池さん…
……
目も見えないのに…
ゼウッ
……
か 楓さんか？
えっ？ きゃ!!…

きっ…菊池さん!!
大丈夫ですか!?
ドロオッ
ブル
泥だらけじゃ
ありませんか!!
ああこれ…
ブル
ブル
あはは…楓さんを
探しているうちに
そこの土手でね…
大したことは
ないですよ…
そんな…
ここんなに怪我
してるのに…
私の肩に
掴まって!……
しがみつ
とにかく楓さんが
無事でよかった…
すまなかった
ねえ…
えっ…
すまなかった…
楓さん…わしは…
ぐすん…
あんたに甘えて
おったんじゃあ…

甘えただなんて…
ボロ
ボロ
ぐしゃぁ…
一人だと外もまともに歩けないのに…
私…そんな人を置いて出ていくなんて…!!
甘えてたのは私の方だ!!…
ごめんなさい菊池さん…

とにかく…中に入りましょう…
温かいお茶でも飲んで…
お風呂に入って今日は寝ましょう…

ガララッ
さてさて…
そろそろ…
ふぎ
そろそろ…
楓さんに飲ませたお茶の催眠剤が効いている頃じゃろう…
ドッ…

探すのに手こずらせおって…
おかげで二度も風呂に入ることになった…
だがもう遊びもこれで終わりじゃ…
楓さん…
ギラレフ
もう逃がすわけにはいかん……
これをしなければわしの復讐は成り立たんのじゃよ…
だから悪いが…
あんたには犠牲になってもらう…
すう…
すう…
ズズズ…
恨むなら…
爺様を恨むんじゃ…
ズロッ

そして七城努…

何とも皮肉なことよのう…

ス…

カリ…

貴様の愛するこの孫娘の無防備な寝姿ときたら…

すう…

すう…

暗がりに白く光る汗ばんだ肌がもう…

なんとも美味そうじゃあ…

ぐわっ

ぶぶぶ

はぁうっ！……
美味いっ!!
美味いぞ楓さん……!!
あっ……
……っふ
何とも美味い
柔肌じゃああ!!
あっ！……
……ぐっっ
あ！……
それにこの……
この乳も！
手に吸い付いて
きおる!!
ああっ！……
ふあああっ♥

楓さんっ!!楓さんっっ!!
あっ…
う~ん…
なんと…なんと艶めかしいカラダなんじゃ…
あああっ楓さん…
本当は…本当はこんなことしたくはないんじゃ…
ああっあんっ!
あむっ!
はぐっ!
あんっ!
あはっ
ふぐぐっ!!ぐぐっぐぐぐ!!…
あっ♥
このっ!!このカラダめがっ!!
やああっ
いちいちエロい形をしおって…!!
わしを狂わせよる!!

く薬を盛ったんじゃ…
しばらくは起きんはず…
ならば…すぐには
済まさず楽しませて
もらおう…
30年の鬱憤を…
このデカ尻でなあ!!
ほれっ!
ほれっ!
ほれほれえ!!
あっ♥
あっ♥
あ…
たっ…たまらんっっ!!

ぬおおおっっ!!
ぬおおおおおおおおおおお!!
ズニュッ
ズニュッ
ふっ…太ももの圧が…
ズニュッ
ズニュッ
んっ…
どクッ
あっ…
圧が凄くて気持ちえええええ!!
いっいかん!!…
ズニュ
ズニュ
つい果ててしまうところじゃった…
これでは復讐にならん…
ズルルル
やはり直接楓さんの粘膜に…
しかしこれは…
プルルッ
う~ん…
改めて見るとなんと美しい……
ごくん
ふふ
ふふ
まるで…天使じゃ…

しかし…こんな…まだあどけなささえ残る娘を…

わしは…

…うん…

クソっ!!考えるな!!

心を鬼にするんじゃ!!

すまん!!楓さん…!!

……!!

はふっ!

はふうっ!じゅるっ…

う美味いっ!!美味いぞっっ!!

っく…

うっ…

む夢中で舐めてしまう!!

ぴくっ

じゅるっ

……

うっ!…

なんじゃ…?

ん…

んっ!…

か楓さん…まさか…

感じとるのか？…
こんな爺の舌で…感じておるのか!?
ペルペル
甘い香りも…味も…
ペロペロ
あっ！
んぅ！
赤く染まる頬も…!!……
うっ…
ぜクッッ…
ああぁっ！…
ぜクッッ…
たっ…たまらんっっ!!
もにゅ
もにゅ
むにゅうう
んくっ…
あ…あ…
この白さといい きめ細かさといい…
柔らかく…吸い付く肌といい…!!
ふうぅんっっ!!…
んくうう
うぅっっ!!…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
楓さんの全てが
わしを狂わせていく…!!
はぐはぐはぐっっ!!
じゅるるっっ!!
ゴクッ…ゴクリッ！
レロレロレロレロ
〜ッッッ…!!
ついさっき痛んだ
良心も吹き飛ぶほどに…!!

…っはあああっっ!!…
はあっ…
はあっ…
…は果てたのか?
わしなんかの愛撫で…
か楓さん…
30年ぶりだからか…?
別れた妻も含め正直こんなに興奮したことなどなかった…
た……食べてしまいたいくらいじゃ…楓さん…
んっ
あ…
超えるぞ…一線を
んっ…あああ

……
……あああああっ!!
……何!?
えっ?……
……っっ!!
ぎゅうラッ
いっ……
嫌ああああ
ああああああ
ああああっ!!
ぐちゅ
……えっ!?

どどうなってるの!!
やめてええええええっ!!
大丈夫じゃ楓さん…
騒ぐことじゃない…
わしらはっ…
わしらはこうなる運命じゃった!!
ズッポンズッポン
き菊池さん!?
なんで…なんでこんなこと……!!
やめてっ…ああっ!
うあああっ!!
ああああっ!!
やめてえええええっ!!
くりくりくりく

なんで!?こんな…ご老人なのに…
あううっ!!
うっ!
うっ!!…
抵抗できない…力が…
〜ああああっっ!!
あっ!
あっ!!
あぐっ!
あっ!
ここんなのって…!!
ひっ!
嫌!…嫌っ!!……
嫌だあああ!!……
あんっ!
あんんっ!
あっ
どうして…
どうして!?菊池さん!!
はひいっ
ふひいっ

気持ちいいんじゃな？楓さん…
痛いくらいにキュキュウ締め付けてきよる！
あっ！
…っあ!!
うううっ…!!…
…あっ！あっ！あっ！あっ！あっ！…
気持ちいいなんて!!…
ああんっ！
これは夢だ…夢なんだ!!
ああっ！
あはあっ！
うあああああああっ!!
お願い!!夢なら…
早く覚めてええええっっ!!……
いや！…
ああああっ
胸…
らめええええっ!!
ふぐうっ!!
楓さん!!出るっっっ……
あっ

ダメえええええええええ

〜〜〜〜っっ!!……

ギッ…

ギッ…

そおーっ

……

……やっぱり…

夢…か…

どうしてこんな夢ばかり…

あまたごはん作ってくれてる…

菊池さんはどこに…？

……あ ここにいたんですね

おはよう ございます 菊池さん…

昨夜はありがとう ございました…

おお おはよう 楓さん…

外が気持ち良くて 出とるんじゃあ…

…確かに 気持ちのいい 朝ですね

やっぱり普通の おじいちゃんだ…

多分 お風呂でのことが ショックであんな夢を 見たんだ…

そう思おうとした…

…でも……

夢は毎晩のように 続いた……

あっ！……

ああああああああ ～～っっ!!

ああああっ！
夢の中で何度も菊池さんとセックスをした…
あっ…
んんん…んああっ！
あっ！
何度も同じ夢を見るうちに…
あっ！
あっ！
あっ！
次第に私の方から身体を動かすように
なっていった…
あはああっ
ああんっ！
たぽんっ たぽんっ たぽんっ
あんっ
あああ
まるで現実のように鮮明で快感も本物のように感じられた…
オーガズムさえ…
ああっ

そして決まって
そういう夢を見た
朝には…
……
ええ～!! もう！
どうして起きられないの!?
しかし 起きられない
私を菊池さんが叱る
ことはない…
ガシ…
またしても…
ほっほ…
いいんじゃよ わしは
どうしても早く起きて
しまうんじゃ…
足が不自由でかつ
ほぼ盲目に近い老人に
おかしな夢の事を問う
わけにもいかず…
世間では私の失踪に
ついて何か動きが
見られるわけでも
ない…
そんな奇妙な生活にも
数週間経つ頃には
慣れ始めている
自分がいた…

しかし事は密かに動いていた…

CAFE WEW

OPEN

本日のおすすめ
メニュー

楓 失踪の1週間後

ねえ君たちさ…

それって清羽(きよは)学園の制服だよね？

ちょっといいかな？

あっ…こ……この人って……!!

…っっ!!

ドキ

ドキ

~~っ!!

有名な伊東商事の一人息子……

い伊東裕也(いとうゆうや)さん!!

あもしかして僕の事知ってた？

あのさ君たちさえよければ頼み事を聞いてくれないかな？

ある人を探して欲しいんだ…

もちろんお礼はするよ…

じゃあ菊池さん！私夕飯のお買い物に行ってきますね！
おお 気を付けてなあ……
うふふ！すぐそこのスーパーですから！
じゃ 行ってきます
いってらっしゃい…
お肉と野菜が安い
スーパー ヤス
ええっと…今日はカレーだから…
人参 ジャガイモ…
あら…もしかして七城さん？
はっ
っっ!!…
……
やっぱり！七城さん！
あ…同じクラスの新宮友加里さん…

どうかなさったんですか？学校ずっと休んでますよね？どこか体調が悪いんですか？

みんな心配してますよ？

野菜コーナー

○○県産にんじゃく

じゃがいも 1袋150円

ううん…ちょっと…事情があって…

ああの…

良かったらこのこと誰にも言わないでもらえると嬉しいんだけど…いいかな？

ふーん…

…わかりました……

ヤスシ

それでは！元気そうで安心しました！

みんなには言わないから安心してくださいね！

ありがとう！それじゃあ…

ゴッ

ゴッ

い嫌な予感がするな……

こんな町はずれの小さなスーパーにどうして新宮さんが……

んっ…
っは……
はむっ…
それで君たち今日はどこを探したの？

き…今日は…小手町と小森町周辺を…はむっ❤
ぴちゃ
ぴちゃ
それで…見つからなかった？手がかりも無し？
ごめんなさい…い…いっぱい歩いたんですけどぉ…
れろ
れろ
れろ
あむっ…ちゅぷっ❤

ふーん…
くるくる
まあいいよお疲れ様…

今日のご褒美…入れてもいいよ
君から…ちゃんとゴムはつけてね……

あっ❤嬉しいです…
あんっ❤はあああお…大っきいぃ❤
ずぷぷ

あんっ❤
あっ！
ああんズルい！私もぉ～❤❤
おいで…キスしよっか…
はあああ❤
……
ちゅぱ
あんっ❤
ああっ！裕也さん～❤❤
嬉しいっ！ああっ❤あっ…
憧れの裕也さんとこんな風に繋がれるなんてぇぇ❤❤
あんっ！でもぉ…七城さんと…あっ！どんな関係なんですかぁ？
ぱっ
あはんっ❤私も…それ気になりますぅ❤だって…
裕也さんが七城さん探すなんて…あんっ❤どうしてですかぁ？
あんっ❤
あんっ❤

あはあああああっっ❤❤❤
熱っっぅぅ〜〜〜い❤❤❤
ビッチャッ
……
それは君らに関係ないだろ？
ピポパー
！
ちょっと静かにしててくれる？
…誰だよ？何か頼んだっけ？
……私です
新宮友加里…
ヤム
七城楓さんの居場所を突きとめましたわ…
彼女を小手町の空港近くのスーパーで見かけました

ガチャッ

ありがとう助かったよ…

良かったら上がって行きなよ君も僕と…

結構です

私をどこぞのバカ女達と一緒にしないでいただけます？

こんな2流マンションの小汚い部屋でなんて死んでも御免です……

それにすねかじりで七光りの短小包茎ペ〇スもね…

……

いいね…嫌いじゃないよそういうの

えっ!?

ええええ～～!?

どうしたんですかこのピアノ!!

うん安く譲り受けたんじゃ良いものではないが調律もしてある
これはあなたへのプレゼントです
えっ!?私にですか!?
そんな悪いですよ!
いいんじゃよもう捨てることもできないし…
それにひだまり園であなたのピアノを聞いたから…
あなたを助ける気になったんです
何か弾いてくれませんか?
はい!喜んで!
本当にありがとうございます!!
ポロン…
ポロロン…
…!!
…この音色は……
……ふふふ…
……楓ちゃん みぃ~つけた……!!

…ん～っ…
…ん…
…あれから数日…
ダメじゃあっ
楓さん…
ダメですううぅあああっ❤～!!
キャラ
なぜだか毎晩見るようになってしまった…
菊池さんとの卑猥な夢…
はふ
はふ
んっ…
あんたはまるで天使じゃあ～…
やっぱりこんなの…
き菊池さんっ…
もみ
もみ
楓さんの弱いところはぜぇ～んぶ知っとる❤
ああっ！や…
そこは見ないでください！

大丈夫じゃよ…私は目が見えん…

そっ…そういう問題じゃ…!!恥ずかし…

…んあああっっ!!

お奥までっっ!!……

ダメえええええっっ!!

あっ!

いつも…これで何度も絶頂に達してしまう…

あ――っっ♥♥イッちゃいますぅ～っっ!!

はふう…

はふう…

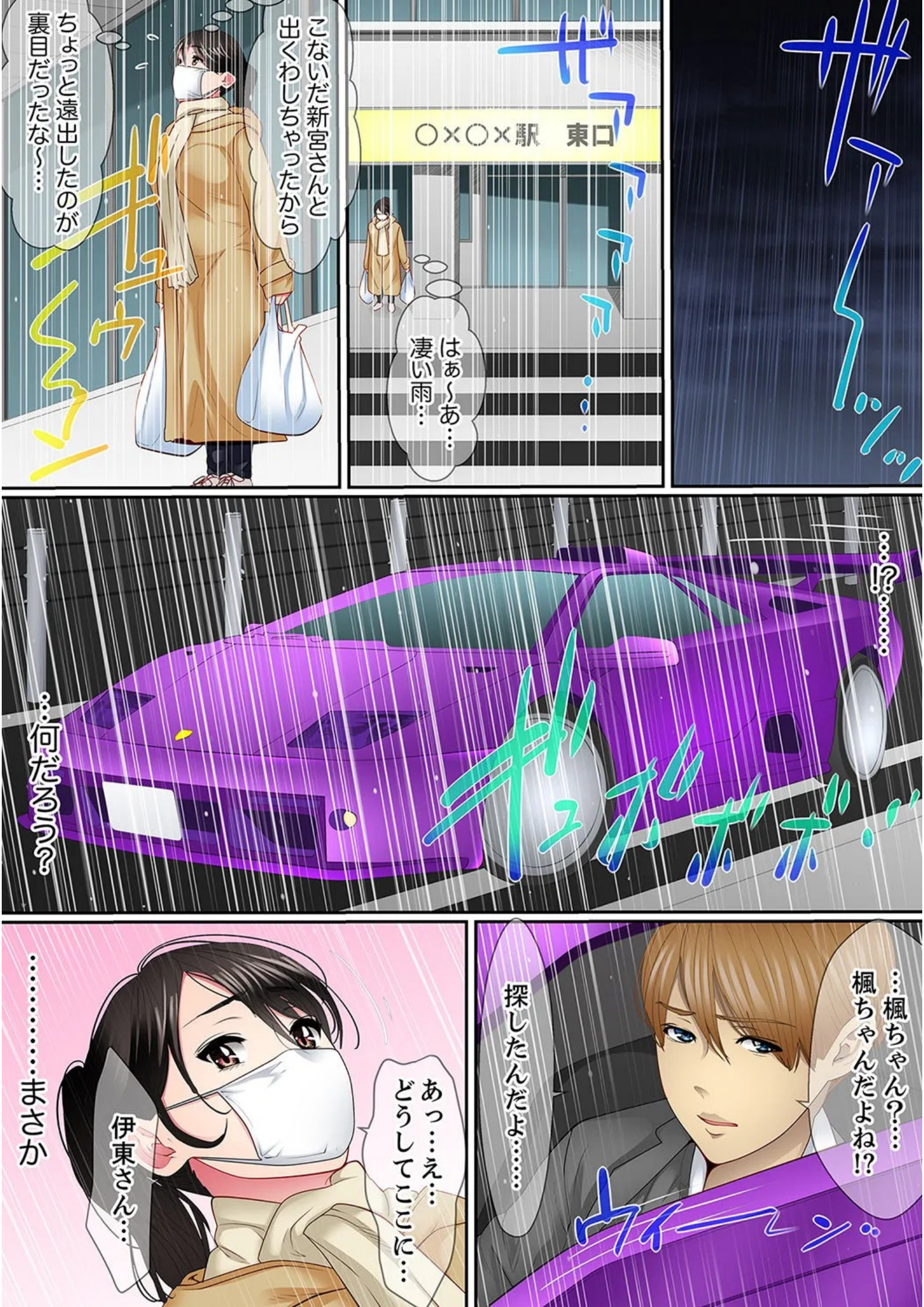
お上品な言葉づかいもそそるのぅ…

もう我慢できん!入れるぞ楓さん…!!

あっ……

避妊っっ…あああっっ!!
あっダメ!…
ふぐうっっ!!
締まるっっ…
楓さんっっ!!
奥までっっ…
ふううんっっ♥
ふんぐおおおおおおっっ!!
気持ち良すぎてっ!!…
こっ腰がっ!!止まらんっっ!!
止まらん〜っっ!!
いいかんっ
もう出るっ!!
やっ!!…
ダメえっっ!!…
あっ!!…

ああああ～～～ッッ❤❤❤
レロレロ
ブジュッ
ぱたっ
き 菊池さん…
も…もう私…体力が…
はーっ
はーっ
はーっ
まだまだ始まったばかりじゃよ…
朝までたっぷり……なあ楓さん…❤
なぜだが夢の中では
夕べはすごかったな…
なんだか夜ごと激しくなってる気が…
ポォーッ
菊池さんが恋人のような存在で…
これが当たり前のようになってきている…
すすごい濡れてる…
くちゅっ
変だよねこんなの…


ザァァァ
○×○×駅　東口
ザァァァ…
はぁ～あ…凄い雨…
こないだ新宮さんと出くわしちゃったから
ちょっと遠出したのが裏目だったな～…
ギュウ
…!?……
ブブブブブ
…何だろう?
…楓ちゃん?…楓ちゃんだよね!?
探したんだよ……
ウィーン
あっ…え…どうしてここに…
伊東さん…
……まさか

い嫌な人に見つかってしまった……

よりにもよって……あの伊東さんに……!!

ゾわぁ…

伊東商事の二人息子伊東裕也さん……

七城家と伊東家は古くから付き合いのある親戚同然の仲なのだが……

お誕生日おめでとうございます！

おめでとうございます！

キャー

キャー

ありがとう！皆さんお祝いに来てくださって！

私は昔からどうしても裕也さんが苦手だった…

というより…こういうおごそかなパーティの雰囲気や…

一流の方々への挨拶周り…社交辞令…入り混じる香水の匂い…全てが苦手…

要するに私は…

そもそも…

お金持ちの家なんかに生まれるべきじゃなかったんだ…

伊東さんは何というか私と真逆で…

う…船酔いかな…

なんだか具合が…

くらぁ…

名家に生まれたことを勲章のように掲げている人だった

横暴で自信過剰…そんなイメージがあった…

もう部屋でゆっくりしていよう…

フラフラ

だから小さな頃から伊東さんを心なしか避けていた…

ガチャ

ところがあの夜…

待って！楓ちゃん!!

えっ？

たたたたたたたた

僕も入れて！

あっ！あの……

やあっと面倒な取り巻きから解放されたよ…

……

ガチャッ

疲れるったらないよね…

ありがとう…かくまってくれて…

ちなみにまだ楓ちゃんからはおめでとうの言葉をもらってなかったな…

あおおめでとうございます！

ごめんなさい！私…具合が…その…

あまり…

またまたぁ～!!僕の事あからさまに避けてるくせに!!

ショックだなぁ～!!

ボフッ

いいじゃん僕ら幼馴染なんだからさ！

気を遣わずに仲良くしよーよ！

ほらほら添い寝してあげるから…

ゴロゴロ

具合が悪いなら一緒に寝ようよ楓ちゃん❤

やめてくださいっ…

お茶を淹れますから…

飲んだらパーティに戻ってくださいね！

……

きゃっ!!…
なっ……
ビサッ!!
何をっっ……
楓ちゃんってさ……
知ってた？
俺たちいずれ結婚するんだよ？
えっ？
かわいそうに……
やっぱりなぁ～んにも知らされてないんだ…
残念だね
僕が結婚相手で…

んっ!?

ぶるんっ

んんん〜っっ!!

んん——っっ!!

バタ バタ

うっ!!

ビクッ

……この…!!

まさか僕をここまで拒むなんて…

本気でショックだよ…

でも燃えてきた…!!

この予想外な感じ……

ちょっとからかうつもりが…

くいっ

本気でムラムラしてきたよ!

ブルルンッ

ひっ!!…

君のおじいさんは名家として政治家として力を発揮し続けるために

ぐぐっ

嫌あああああっ!!

伊東商事とは仲良くあり続けなければならない

やめてっ!!

ウチも同じさ

触らないでっ!!

だから両家の結束を固めるのに一番手っ取り早くて確実なのは…

僕と君が結婚して家族になることさ

ううっ!

アルアル

い…

そんな…!!

嫌ああ……

どうせあと数年後に結婚するんだしさ…

私の人生って…

レル…

もうやっちゃう?

もう決められてるの…?

…今ここで…

お父さん…お母さん…

あの時私の脳裏に浮かんだのは…

おらっ！これがいいのか!?

あひいっ！

叩かれるのが好きなんだろ!?

父と母のトラウマ――

おっと楓ちゃん…もう観念しちゃった？

まあ叫んでも誰にも聞こえないしね…

抵抗しないんだったら…

～～～っっ!!…

へっ!?
オエエエエ!!
えっ?
えっ?
ゼシャ
ゼシャ
ゼシャ
えっ?
えええええええええええええ
っちょ!!何してくれてんの!?
ナナナあらら
どうしてくれんの!?
これLAのデザイナー
ジュン・エリオットに
特注で作ってもらった
スーツだよ!?
ううう…
バタン!!
船酔い→
ちょっと!!
誰か~!!誰か
いないの~!?
……よかった
帰ってくれた…
ザァ~~
それ以来…
疎遠になっていた
伊東さん…
ガルルル…
こんにちは
伊東さん…
できれば二度と
お会いしたくないと
思っていたくらい
なのに…
まさか一番
会いたくない
タイミングで
一番苦手な人と
会うなんてっっ…
私は大丈夫
ですので
お構いなく…

君が乗らないなら僕もここでこうして待つ
目立つと思うけどな君にとっては一番困るんじゃないか？
大丈夫おじいさんの所へは行かないから…
君が行きたいところまで送るよ
……
ブォォォォ
で…ではお願い致します…
ブォォォォ
小森の交差点の方に向かっていただけますか？…
…了解
いやそれにしても…本当に探したんだよ…御爺さんがほら…
捜索を警察に頼みたがらないだろう？
だから僕らも駆り出されて大捜索さ
でも君が無事で安心した
ご ご迷惑をおかけしました…
う…いきなり本題か…

……

……

…あの日以来余計避けるようになったろ…？

楓ちゃん…

またまたど直球…

ドキッ

えっ!?う…

怒らないでよ

自分でもわかってるんだ話題が直球すぎるってね

わ私の心…読まれてる？

僕は人生が短いと思ってる人間だからね太く生きるためになんでも手間を省きたいんだ

やっぱり好きになれない…この感じ…

……

ズーン…

ちょっと寄り道するだけだよ
…あれっ？
あすみません！今の道は右に…
そこに君のお母さんが来てる
お母様が？
君が家を出た理由は僕にも理解できる…
でもせめて君のお母さんには無事を知らせてあげないと…
さ ここだよ…
本当に…いるんですよね？お母さん…
もちろん…

ガチャ…

あの…母は…

ごめんね あれウソなんだ…

…えっ？…

……っっ!?……

楓ちゃんが家に帰りたくない理由はわかる

でもあんな見ず知らずの老人の家に住み込むなんてよくない！

だからこの僕の部屋を使ってよ

ああの！帰らせてください！

ズ

そうはいかない

ヒョイッ

きゃああっ!!

何するんですかっ!!

僕の婚約者が見知らぬ老人の家で男女二人きりとは…

捨て置けないよ楓ちゃん…

ゴッ

ゴッ

あのっ！

まだっ！結婚するって決まったわけじゃ…

ひゃあっ！
ドサッ
結婚するって決まってるんだよ!!
どっちがいい？
ばっ
!?
御爺さんに居場所をバラすのと…
ここで僕と新婚生活を始める…
こっちの方がいいと思うなぁ～…
っっ!!……
やっぱり…好きになれない!!
ぐっ
どっちを選んでも地獄だとは思うけどね～…
まあ早いうちに僕って人間に慣れといた方がいいんじゃない？
ああ～～……
ぱっ

ショックだよホント…僕ってお爺さん位嫌われてるの…？

これでも僕君に謝りたかったんだから…

あの日からずっと後悔してたんだ…

なぜゲロ吐かれたくらいのことで…

ズ

か変わってない!!……

君ほどの女を抱かなかったんだろうなって……!!

ずるんっ

ズルルッ

ひっ!!……

あの時から…

何も変わってない!!

こいつ

いいっ

プシッ

ぷるんぷるん
お爺さんの敷いたレールの上を行く人生は嫌だよな…
あっ！
ううっ
でも決まってるんだ運命はね…
ぐにゅ
ぐにゅ
君は僕と結ばれる…
君が拒んでもこれが現実さ!!
欲しいものは手に入れる…
嫌われていようと何だろうとね…

To be
continued...

ドキドキの数だけ
エッチがある
かわいい女の子に心も体も満たされて…♥

たっぷりドキドキ
めしあがれ♥
Hな大人のための電子コミック
エロマンガ島
新作・人気作が大好評配信中！

歪んだ復讐セックス
～少女の蜜奥まで捻じ込まれて…！
【完全版】 1

発行日　2019年 4月 1日

著者　　ころすけ

発行　　モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

© Korosuke 2019